

学校教育目標	「伝えあい認めあい高めあい未来にはばたく森東の子」(R4)→「認め合い 伝え合い 共に高めあう 森東の子」(R5・R6)				
	○自他のよさや可能性を認め、問題を解決していこうとする子 (知) ○豊かな関わりを通して、自分を伸ばそうとする子 (徳) ○心身ともに健康で、自立(自律)した生活を送ろうとする子 (体) ○地域の一員として、自らができることを考え実践する子 (公) ○コミュニケーションを通じて、社会への視野を広げようとする子 (開)				
学校概要	創立 48 周年	学校長 菊池幸博	副校長 小倉秀仁	2 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 232 人		主な関係校: 森中学校 屏風浦小学校 汐見台小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	森中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自ら進んで学ぶ力 ○周囲と繋がりをもてる力 ○持続可能な社会の実現に向けて行動する力	森中学校 屏風浦小学校 汐見台小学校 森東小学校	「豊かな心の育成」 ～自他の心を大切に、主体的に考え行動する森・汐見台の子どもたち～ ○自らの可能性を追求し、主体的に考え行動する子ども ○お互いの心を大切に、学び合い、高め合う子ども ・教職員の授業参観や合同研修等を実施し、相互の連携を深めます。 ・小中一貫ブロック担当者や児童支援専任・生徒指導専任を中心に、児童生徒の情報交換を密にして指導にあたります。

<b>中期取組目標</b> ○子どもたちが、自ら学び続ける意志をもち、自他のよさや可能性を認識しながら、学ぶことができるように推進します。 ・子どもたちの探求心「やってみたい・知りたい」や疑問「なぜ・どうして・どうなっている」を大切に、主体的に学ぼうとする授業づくりを進めます。(主に1年目) ・実体験や本物に触れる機会を設け、「できた」「わかった」「なるほど」を重視しながら授業づくりを進めます(R5年度中心) ・自らの考えをもち「こう思う」、他者と伝え合う中で「そんな見方もあるのか」、互いに認めあい高めあう授業づくりを進めます。(主に3年目) ○自他の生命を尊重し、心身ともに健康で安心・安全で豊かな学校生活が送れるように心の醸成に努めます。 ・子ども一人一人が、互いを尊重して、だれもが安全で安心して豊かに生活することができる学校づくりを進めます。 ○小中一貫教育や家庭・地域と連携し、信頼に応えられる学校づくりをめざします。 ○教職員が、相互に啓発・連携して活気ある学校づくりをめざします。
--

重点取組分野	具体的取組
<b>知 授業改善</b> 担当 研究・研修	①重点研究テーマ「主体的に活動し、お互いの考えを伝えあう子」～一人一台端末の有効な活用を通して、考えをもち、広げ、深める授業づくりの実践～にそって、ICT機器を有効活用しながら、主体的・対話的な学びを引き出す授業づくりに取り組み。 ②一人一人の基礎・基本の定着に向けて、めあて・発問等に着目しながら、指導の工夫・改善を目指す。 ③学校司書と連携し、朝学習や授業に読書の時間を設け、語彙や表現の習慣を図ったり、情報を収集したりする取り組みを行う。
<b>徳 道徳教育</b> 担当 人権推進 道徳推進 道徳部	①学校生活全般を通して、一人一人が互いのよさを認めあい、自己肯定感を高めあう取り組みを展開する。 ②あいさつの大切さや礼儀正しい態度を学び、思いやりや感謝の気持ちを育て、子どもたちの好ましい人間関係を築く。 ③一人一人を大切に、誰もが、安全で、安心して生活できる温かい環境をつくる。そのために日々、児童理解、教育相談、YP実践、特別支援教育研修等に努め、いじめを許さない風土をつくる。
<b>体 健康教育</b> 担当 体育部 保健部	①各種感染性対策をしながら「一校一実践」(大縄等)を取り入れ、体を動かす活動に取り組む。 ②学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組んでいく。 ③食育教育全体計画に基づき、食の大切さを通して健康教育を推進する。
<b>公 自分づくり キャリア教育</b> 担当 特活部 生活・総合部	①学校運営協議会、PTA、青少年育成協議会や各種団体と連携し、体験的な学びを通し、保護者や地域と共に、自らができることを考え実践する子どもの育成をめざす。 ②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見直し、振り返り、自身の姿や成長を自己評価できるようにする。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①いじめのない学校の風土づくりに向けて、教職員のいじめ認識、いじめ認知の能力を研修等の機会を通して高めていく。同時に、児童に対しては、道徳科学習や特別活動の実践の充実を図ることで、他者への思いやりの心を伸ばすよう努める。 ②毎月のいじめ対策防止委員会や児童理解研修を通して校内事情の共有化を図り、いじめの疑いがある事案に対しては、児童支援専任を中心に、組織として迅速かつ機動的に対応し、特に初期対応を大切にす。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 教務部 メンター	①小規模校のよさを活かして、OJTを計画的に進め、教職員の積極的な学校運営への参画をうながし、人材育成を図る。 ②校務のICT化、文書のスリム化、会議の精選等をいっそう推進し、ゆとりある学校運営をめざす。 ③「働きやすく、学びやすい環境」になるため、一部教科担任制やひと学年2担任制を立ち上げ、持続可能な働き方のモデルをイメージし、実践する。
<b>児童指導</b> 担当 児童指導部	①森東小スタンダードを共通理解し、教職員が統一した姿勢で指導にあたる。 ②全教職員でぶれのない児童指導にあたるため、定期的に児童理解のための全体会を設定し、児童ならびに児童への指導についての情報共有を図る。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援コーディネーター	①個別支援学級(学習室)と一般学級との連携を密にした指導・支援を積極的に展開する。 ②ユニバーサルデザインの考え方を研修し、教室環境や授業の改善を進める。 ③国際教室をはじめ、一人一人の特性を理解し、取り出しや入り込み等の個別指導を重ね、学習保障を図る。
<b>地域学校協働活動</b> 担当 教務部 防災・安全部	①地域と協働して祭事や生産活動(芋づくり)、イベント活動への参加等、地域との結びつきを強め、地域の中で活動できる力を育てる。 ②地域代表者と学校運営協議会の意義と役割について共有し、協議会を設置し、積極的に地域の声を学校にいかすよう努める。
<b>国際交流</b> 担当 国際教育	①オーストラリア姉妹校との交流を通して、国際感覚を高める。 ②英語に親しんだり、異文化を経験したりすることにより、グローバル化されていく社会に対応できる資質を高める。 ③多文化共生を意識した国際教室の充実を図る。